

## 別紙2

## 目標達成計画

事業所名 グループホームほほえみ

作成日:令和 1年 12月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標がひとつも無かったり、逆に目標をたくさん掲げ過ぎて課題が焦点化できなくなるないように、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組み的な計画を記入します。

## 【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題   | 目標  | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容目標  | 目標達成に要する期間 |
|------|------|--|---|---|------------|
| 1    | 2    | 三春町内でも「グループホームほほえみ」の存在を知っている方は限られると考えられる。もっと地域に出向き、「グループホームほほえみ」を知ってもらいたい。 | ・地元の食材購入箇所の拡大を図る。<br>(現在は個人の肉・魚店、ヨークベニマルの配達で対応)       | ①味噌や麹、行事に使用する果物や菓子(饅頭、おはぎなど)を地域個人商店で購入する。<br>令和2年1月～開始。<br>②上記①を、入居者と共に貰いに行く。<br>令和2年4月～<br>③連絡先一覧書類の整理。  | 4ヶ月        |
| 2    | 2    | ボランティアの積極的な受け入れはしているが、園児や学生にホーム訪問して頂く機会が作れていない。                            | ・入居者が園児や学生と触れ合える機会が作れる。<br>・令和2年4月以降に受け入れ出来るよう準備を整える。 | ①田村高校JRCへの確認。<br>社協ボランティア担当の米川さんと協力しながら対応。<br>②園児の訪問、学生の職場体験受け入れ等についての連絡先の確認。ホームへの訪問の打診。                  | 12ヶ月       |
| 3    | 11   | 建物の作り上、外部から来られた方がうがいや手洗いする場所が遠い(入居者の過ごす空間に入らないと出来ない)。感染症が入ってしまう心配がある。      | ・入居者が外部からの感染症持込の心配なく過ごせる。                             | ①建物の作りは変えられない。玄関先に指先消毒スプレーの設置。<br>②年間を通して体調の悪い方の面会を控えて頂く事と場合によっては玄関先での対応の理解を得る貼り紙を作成。状況によっては口頭での説明で理解を頂く。 | 1ヶ月        |
| 4    |      |  |   |   | ヶ月         |
| 5    |      |  |   |   | ヶ月         |

注)項目の欄については、自己評価項目No.を記入してください。項目数が足りない場合は行を挿入してください。